

発行：新穂行政サービスセンター

お問合せ先：新穂行政サービスセンター

電話0259-22-3111

(担当：土屋(一)、川上、土屋(嘉))

新穂 地域づくり計画(素案)ができました!

10月13日(木)から始まった「新穂 地域づくり懇談会」も11月24日(木)に第4回を開催し、終了しました。これまで、延べ88人の参加がありました。大変ありがとうございました。

これまでの経過

第1回懇談会では、「新穂をどのような地域にしたいか」をテーマに、地域づくりの理念(案)について意見を出し合い、第2回では地域の「好ましい現状」と「気になる現状」を整理しました。

第3回は、地域づくりの理念(案)と現状整理を念頭に「地域の将来像」を考え、第4回では、「地域の将来像を実現するための具体策」について話し合いました。

「新穂 地域づくり計画(素案)」は、今まで懇談会で話し合った内容を取りまとめたものです。

新穂 地域づくり計画 (素案)

【理念】

【将来像】

豊かで優れた自然と生物多様性が保全・継承され、その恵みを体感できる新穂になっている

自然と人々の生活が融合した農山村ならではの風景、景観が創出され、住む人や訪れる人にやすらぎを与える新穂になっている

新穂ならではの伝統文化を守り・伝え・活かし、我がふるさとに誇りと愛着を持てる新穂になっている

豊富な地域資源を活かした新穂ならではの多彩なイベントが展開され、人々が行き交いふれあいが生まれる新穂になっている

多様な連携により、地域の資源を活かした固有の産業や高齢化社会に対応した新たな生活産業が創出され、地域内で資源・人・経済が循環する新穂になっている

地域全体で支える子育て環境最適地の新穂になっている

家族のような絆でつながり、安心・安全にいきいきと暮らせる新穂になっている

地域の力で暮らしを支え未来に向けた地域づくりを実践する新穂になっている

いつまでもトキと共生できる地域にしたい

地域ぐるみで人を育て支えあい年齢や性別、障がいに関係なく誰もが健康でいきいきと暮らすことのできる地域にしたい

個性豊かな歴史・文化を住民が誇れる地域にしたい

住む喜びと誇りを抱き人と地域が輝く新穂をみんなでつくる

集落や世代・性別の枠を超えて地域住民が連携・協力する地域にしたい

子どもから高齢者まで集い喜びと感動が共有できる楽しい地域にしたい

農・商・工が元気で賑わいのある地域にしたい

～将来像を実現するための具体策について～

第4回懇談会では、第3回懇談会が出された「新穂地域の将来像」をもとに、具体策を考えてもらい、86件の意見を出してもらいました。

ここでは、出された意見を29方策(案)としてまとめ、さらに4事業(案)に分類しました。



1. 集落活動支援事業

～ コミュニティ活動の創成 ～

- 集落間連携による交流事業の支援
- 集落で開催するイベント支援
- 集落で行う環境美化活動の支援
- 集落で行う大学生等の受入・交流活動の支援
- 集落で行う子どもの居場所づくり活動の支援
- 集落で行う空き家対策の支援
- 集落長会議の定例化

2. 暮らしを支える事業

～ 地域の誇り・絆の創成 ～

- 環境美化活動
- トキやホタルなどの生息環境整備
- 自然・景観などの現状を把握する機会づくり
- 伝統芸能の後継者育成と発表の場づくり
- 地域の歴史的文化的資源を把握する機会づくり
- 能舞台の保存・活用
- 交通安全・防犯・防災対策
- 地域全体での挨拶・声掛け運動
- 独身男女の出会いの場づくり
- 学校等と地域住民の交流活動
- 子どもたちの遊び場・居場所づくり
- 三世代交流イベント
- 日吉神社裏の農村広場を介護予防施設にする

3. 活性化チャレンジ事業

～ 地域の賑わい・産業の創成 ～

- 若者や女性の起業支援
- 新穂人材バンクの設立
- 各店舗をまとめて大型店舗化し、集客を増やす
- 商店街にアーケードを設置する
- 自然や歴史文化、産業体験ツアー等の開催
- イベントの復活・継続・発展

4. 情報発信事業

～ 地域の魅力の創成 ～

- 新穂地区単独HP開設などインターネットを活用した情報発信
- 新穂情報誌の発行
- 地域のイメージデザインを公募し切手を発行する



今後の予定

12月15日(木)19時から、新穂行政サービスセンター2階学習室で開催する第5回懇談会では、「新穂 地域づくり計画(素案)を再確認します。

また、地域づくり組織の創設に向けた取組みについて話し合い、「地域づくり協議会設立準備会」の立ち上げについて検討します。

いよいよ、第2段階です。

地域の皆さんの力が必要です！

